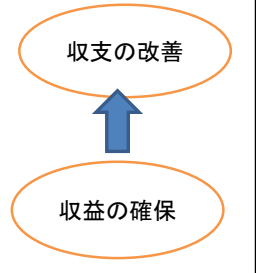
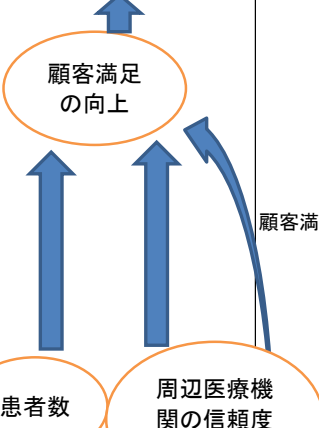
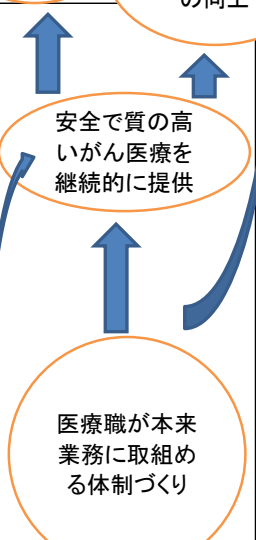
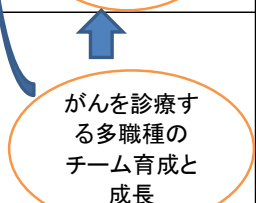


R4年度院長BSCシート

病院名	がんセンター新潟病院（記載20220322）											
ミッション	県民に広くがん医療を提供											
ビジョン	さらに高度・先進的ながん医療を提供できる体制をつくる											
運営方針	①がん医療の質の向上、②安全ながん医療の提供、③働き方改革											
戦略テーマ	収益向上、がん診療の機能強化											
	戦略マップ	戦略目標	重要成功要因(KPI、達成すべき成果目標)	業績評価指標	R01実績	R02目標	R02実績	R03目標	R03実績(12月末)	R03達成見込	R04目標	アクションプラン(留意点:具体的に、「誰が」、「何を」、「いつまでに」を明確に記載)
財務の視点		収支改善	がんのトータルケアの推進のため効率的な病院全体の運営。	病床利用率	79.4%	82.0%	69.7%	82.7%	74.0%	△	80.0%	【R4上期の主な取組】 ・患者確保による診療収益の確保。 ・DPC期間Ⅰでの退院症例については、期間Ⅱ退院でのパスの見直し。 ・R4年度診療報酬改定に対応した加算件数の増(感染対策向上加算Ⅰ、外来腫瘍化学療法診療料、看護補助充実加算、術後疼痛管理チーム加算、内視鏡化手術支援、等)。 ・バイオシミラー、後発医薬品への切替による薬品費の縮減。 ・診療材料について、共同購入促進、調達業務委託化に伴う費用削減。 【R4下期の主な取組】 ・紹介患者数を例年数に戻し、入院患者数を増やしていく。 ・R4年度診療報酬改定に対応した加算件数の増加。
				平均在院日数	12.5	12.0	11.5	12.0	11.6	○	12.0	
				医業収支比率(税抜)	93.1%	100.0%	91.8%	100.0%	102.0%	○	100.0%	
				一日平均診療単価(入院/外来)	入院61,510円 外来30,413円	入院64,000円 外来30,000円	入院64,433円 外来31,905円	入院64,000円 外来30,000円	入院65,048円 外来31,715円	○	入院66,000円 外来32,000円	
				繰上前純損益額(税抜)	前年同期比 +316百万円	前年度より改善	前年同期比 ▲155百万円	前年度より改善	前年同期比 +288百万円	○	前年度より改善	
顧客の視点		顧客満足度の向上	患者満足度の向上	医療情報の提供と発信(HPアクセス数(／日))	152,939	155,000	142,066	155,000	154,360	○	155,000	病院ホームページの活用と地域医療連携室だよりの継続発行(年6回)、診療科別リーフレットによる診療内容の紹介
				安全・安心な看護体制	7:1	7:1	7:1	7:1	7:1	○	7:1	患者・家族にやさしい入退院支援を行う。入院支援センター(PFM)の稼働を向上し、R4年度は入院時支援加算3,500件/年間を目標とする。患者総合サポートセンターとしてのさらなる機能強化
				外来患者に占める紹介患者の増加(紹介率)	79.3%	80%	81.4%	80%	81.8%	○	84%	・病診連携・病病連携のPR(地域連携だより発行) ・地域医療機関への訪問の実施(オンライン訪問含む) ・地域連携後援会の実施
			連携診療所・病院の満足度向上	紹介受診重点医療機関の指定に向けた「逆紹介割合30.0%」の取組							30%	・逆紹介割合 30.0%(逆紹介患者数／(初診+再診患者数)×1,000)以上を目指し、R4年度中の紹介受診重点医療機関の指定及びR5年度からの初診料及び外来診療料の減算(初診料:△740円、外来診療料:△190円)を回避する。 ・紹介受診重点医療機関の指定により「紹介受診重点医療機関入院診療加算(入院初日800点)、連携強化診療情報提供料(150点)」の新規算定を見込む。 ・(参考)R4.2累計 逆紹介割合:22.0%
				高度診療・診断機器の導入(導入件数)	1	1	1	1	1	○	1	R4年度は、内視鏡手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を導入
				PET/CT検査件数(／日)	8.6件/日	9件/日	7.9件/日	9件/日	8.0件	△	9件/日	令和2年度 1,914件、稼働日数243日 令和3年度 1,466件、稼働日数183日(令和3年12月末累計実績) ・紹介患者数を例年数に戻していく。
内部プロセスの視点		がん診療連携拠点病院の機能充実	質の高いがん医療の推進	緩和ケア外来受診患者数	5,716人	5,000人	6,471人	5,000人	5,193件	○	6,800人	緩和ケア専門病棟の高い利用率の維持
				がん予防総合センター受診者数	5,732人	5000人	4,252人	5000人	3,064人	×	5,000人	・R4年度中にドック検診の見直し(人間ドックからがんドックへのバージョンアップ) ・予約制の拡充を図り、医師、患者ともスムーズに受診できる体制を取る。
				がん手術件数	2,539	2,500件	2,283件	2,500件	1816件	△	2,500件	・リーフレットやHPなどにより診療内容等を積極的に発信し紹介患者数の増を目指す。 ・HCU稼働開始(R4.1～)、緩和ケア医療体制の充実(R4.4～)、手術支援ロボットシステムの導入(R4年度)等
				外来化学療法実施件数(／日)	52.7件/日	54件	54.6件	54件	55.4件	○	56件	運用方法の見直しや設備の拡充等により実施件数の増加と安全性の向上をめざす。
				放射線治療件数	66,373件	52,000件	61,498件	52,000件	40,927件	○	52,000件	高度精細放射線治療、IMRTの強化継続
				医療安全体制の強化(インシデント・アクシデント報告件数)	2,527件	2000件	3,250件	2000件	2,830件	○	3,000件	医療安全管理部門(専従の看護師、専任の医師、薬剤師を配置)の維持、事故等(全ての死亡事例))の報告の義務化を継続。
			高度・先進医療の導入	遺伝カウンセリング外来、遺伝性乳癌卵巣癌症候群(HBOC)外来	12件	50件	24件	50件	51件	○	70件	・より精緻な個別化医療としての遺伝性腫瘍に対するリスク低減予防手術(乳房切除、卵巣・卵管切除)の実施、R3年1月からの乳房切除術実施、R3年度からの予防的卵巣卵管切除術の開始など、今後の需要増に対応すべく体制を強化していく。 ・HBOCだけでなく、リンチ症候群やその他ゲノム検査等、幅広く対応していく。
				遺伝子パネル検査件数		30件	30件	30件	64件	○	90件	・がんゲノム医療センターの体制を強化し、リキッド・バイオプシーの需要増に伴う遺伝子パネル検査数の増等に対応する。 ・新潟大学医学総合病院との連携強化
				臨床試験件数(医師主導治療、企業治験等)	33	前年度より増加	28件	前年度より増加	17件	△	前年度より増加	新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を徹底のうえ、製薬会社職員の訪問活動等を適切に受け入れていく。
				専門医等の指定・認定数	246	250	261	250	256	○	250	がん薬物療法専門医等の専門・認定資格の取得、医師の増員、新専門医制度への準備、初期臨床研修病院の機能維持と県立病院臨床研修群への参加継続
学習と成長の視点		人材、組織、情報システムの重視	人材の計画的な確保と育成	働き方改革(病院全体の36違反の減)	684	前年度未満	742	前年度未満	571	△	前年度未満	・①年休5日取得遵守、②超過の縮減など勤務時間の短縮(効率的時間配分、出退勤時間の把握)、③会議時間の1割短縮(効率的会議の運営、事前資料配布)④育児・介護と両立できる勤務環境への取組(復職支援など)、④職場ストレスの軽減(ストレスチェック組織分析結果の活用)、ハラスメントのない職場づくりに取組む。 ・部門長にメール等で現状を把握してもらい、業務の効率化を図ってもらう。

注 1 病床利用率は、平成31年1月までは450床、2月から421床、令和2年10月から404床を分母として計算

2 高度先進医療機器は、定価1億円以上のものを対象とする。

3 医業収支比率は、局費用配分後の税抜き医業収益を医業費用で除した比率

4 がん手術件数は、件数調査統計で、入院患者の手術のうち「悪性腫瘍」の手術件数

5 専門医等の指定・認定数は、医師・薬剤師・看護師のがん関係の資格とする。